

## 議決権行使レポート

証券コード 6507

会社名 シンフォニアテクノロジー

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役9名選任の件			
武藤 昌三氏	○		
平野 新一氏	○		
坂本 克之氏	○		
千手 裕治氏	○		
山国 稔氏		○	
幡野 隆一氏	○		
結川 孝一氏	○		
佐古 達信氏	○		
藤岡 純氏	○		
第3号議案 監査役1名選任の件			
藤岡 章子氏	○		

### 上記の推奨をした理由

- 第1号議案に関して
 

2021年度の1株当たりの配当金は35円であり、2022年度の1株当たりの配当金は50円であることを考えると1株当たり75円の配当金は高いものであると言え、株主が得る事のできる利益も増えるため第1号議案に賛成する。
- 第2号議案に関して
  - 武藤 昌三氏は2009年には代表取締役社長に就任し2015年からは代表取締役会長に就任しているうえ、2019年からは開発本部の管掌を務めているため、これまでの期間に培った経験を活かして企業価値を向上させるであろうと考えたため賛成する。
  - 平野 新一氏は2021年度に代表取締役に就任し2022年から代表取締役社長に就任しており、代表取締役についてからの日はまだ浅いがもう1年務めてもらう事でどのような点で企業価値向上に役立っているかを見定めたいと考えたため賛成する。

- 坂本 克之氏は財務部長、リスク管理の担当、IT 企画部の担当など様々な役職を経験しており現在の地位や担当も多岐にわたっており会社に多大な貢献をしているため取締役役にふさわしいと考え賛成する。
- 千手 裕治氏は代表取締役だけではなく支社、支店、営業所の管掌をおこなっており、会社の上の部分だけでなく全体を見渡しながらか企業価値を向上させる方法を考えてくれるだろうと考えたため賛成する。
- 山国 稔氏は上の取締役と比べると経歴が少なく多角的な視点から企業価値向上に貢献するのは難しいであろうと考えたため反対する。
- 幡野 隆一氏は 2006 年から 2009 年にかけて他社で働いているため自社特融の視点にこだわらずに他社と比較しながら企業価値を向上させる方法を模索してくれるだろうと考えたため賛成する。
- 結川 孝一氏は異なる職種で働いた経験をもっているためありきたりの考えではなく幅広い視点から経営や意思決定に関して助言をしてくれるだろうと考えたため賛成する。
- 佐古 達信氏は結川 孝一氏と同様に異なる職種で働いた経験をもっており多角的な助言をしてくれるだろうと考えられる上に所有するシンフォニアテクノロジー社の株数も 0 であるため客観的、中立的な立場で意見をのべてくれると考えられるため社外取締役には適任であると考えたため賛成する。
- 藤岡 純氏は製造業での企業経営の経験をもちあわせており、また佐古 達信氏と同様にシンフォニアテクノロジー社の株数も 0 であるため社外取締役として客観的、中立的な立場で意見表明や助言をしてくれるだろうと考えたため賛成する。
- 第 3 号議案に関して  
藤岡 章子氏は直接会社経営に携わった経験がないものの 2000 年度から龍谷大学の経営学部経営学科で授業を行い、2015 年度からは教授を務めており会社に助言をできるほどマーケティングや財務会計に関する知識を有していると考えたため賛成する。